

2012年度もあと少しです。

第一小学校のみなで仕上げていきます。

東日本大震災に学び、自分たちにできることを求めて、子どもたちとともに全校で進めてきた「生きる」ことの学習は、今年度にも引き続き、6年生や児童会が中心となって発展させてきました。PTA 本部役員様や保護者の皆様にもたくさんのお力添えをいただき、どの活動も充実したものになっています。

今週末に予定している、校区フィールドワーク「わたしたちの町を知ろう②」についてお知らせします。

2月15日(金) 「わたしたちの町を知ろう ②」

～6年生と思い出をつくる会～

9:30 学校出発 第一隣保館へ

4:45 はじまりの会 (隣保館 2階ホール)

5:55 町を知ろう 開始 (●印は全員。◎印、◇印は選択)

- 第一隣保館
- 共同浴場
- JR 松阪駅
- ◎ 観光情報センター
- ◎ 交流物産館
- ◇ 名鉄タクシー整備工場
- ◇ 白鳩保育園
- ◇ 織らんせ

- ・第一っ子班で回ります。
- ・6年生はそれぞれの場所で説明します。
- ・班ごとに、第一隣保館で休憩する時間があります。

11:50 おわりの会

12:00 学校へ出発

\* 6年生にとっては、昨年度から受け継いでふくらませてきた「生きる」ことの学習の仕上げでもあります。先週2月8日の朝には、その思いをまず5年生に伝えました。今日は、全校にも手紙にして伝えました。裏面に載せましたので合わせてお読みください。

第一小学校のみなさんへ

## 「わたしたちの町を知ろう②」に込める思い

第一小学校 6年生

昨年度の6年生が、わたしたちにできることは「自分たちの町で力いっぱい生きること」だと伝えて卒業していきました。わたしたちは、そのことを引き継いでいくと伝えました。

わたしたちは、4月の友だち集会で「いのちが誕生したかけがえのない日、そのお誕生日をみんなで祝いましょう」と呼びかけ、『だれにだっておたんじょう日』の歌をうたい、1年間歌い続けてきました。このことが、東日本大震災から学んだいのちを大切にすることになると思ったからです。

今年もわたしたちにできることを考え続けてきました。

11月には、宮城県石巻市立大須中学校の岩佐校長先生に直接お話を伺うことが決まり、落羽松の葉でしおりをつくって募金活動をしました。その募金は、バドミントン部のシャトル代などに活用されたと聞き、役に立てた喜びを味わうことができました。また、わたしたちの大好きな太鼓を、岩佐校長先生といっしょにたたくことも実現しました。

岩佐校長先生のお話から、避難所での役割など、わたしたちにもできることを教わりました。想定外を減らすためには、日常的に災害への備えが必要で、友だちが家で常備していたライフジャケットに目を向け、それを全校分用意してほしいと考え、それも実現していただきました。

東日本大震災から、もうすぐ2年がたちますが、わたしたちは2つのことを大事にしてきました。それは、東日本のことをずっと考え続けることと忘れないということです。そのためには、今でも被災地へ出向いて活動されている方々のお話をお聞きし、わたしたちも何か活動をしてつながっていこうと話しました。鈴鹿の墨と雄勝硯で書いた「つながる」や、5・6年生で書いた「夢」は、みんなの思いが一つになった証となりました。

また、先輩から受け継いだ数々の活動からも、つながることの大切さを感じています。考える避難訓練は今年も引き続き友だち集会でおこないました。平和集会や「しあわせ運べるように」の歌も続いています。

そして、校区フィールドワークである「わたしたちの町を知ろう」は、昨年回っていない町を中心に、自分たちの町をもっと知りたい、知らせたいという思いで計画しました。

6年生は、末広町、京町一区、京町を中心にして、8か所の学習を深めてきました。当日は、1年生から5年生までにわかりやすく説明できるようがんばります。

5年生のみなさん、1年生から4年生までを安全に連れてきてください。よろしく願います。

6年生はこれからも東日本のことを忘れず、卒業しても第一小学校のみんなと同じ思いでつながっていたいと考えています。